
黒騎士の行く道 Dark Knight Go Road

鬼畜な人

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

黒騎士の行く道 D a r k K n i g h t G o R o a d

【Nコード】

N 4 9 6 7 B A

【作者名】

鬼畜な人

【あらすじ】

とある一般家庭、そこにその男は居た。これは某ウェブ小説サイトや某動画サイトを巡回していた、どこにでもいる高校生の話である。

サイトを巡回している時とあるスレッドを見つけ書き込む
すると・・・これは一般家庭で育った元高校生が、困惑しながらも、
生き抜いて行く物語

第一話 いつのまにか異世界に・・・あれ？（前書き）

何故かモンスター成り上がり物が書きたかった
それだけなんだ・・・

見たく無い方はブラウザバックしてくださいね

第一話 いつのまにか異世界に・・・あれ？

俺の名前は柴崎神治、ごく最近までごく普通の高校生だった

ん？どういう意味だつて？

俺もよくわかってないんだから聞かないでくれ・・・

回想

どこにでもある普通の家、その2階に彼は居た

「ああー、ついにこの小説も完結かあ・・・さびしくなるな・・・」

そこにいる人物は、丸椅子に座って居た、容姿は長身で凛とした顔、女顔に近いのだろうか。そこに柴崎神治は居た
見ているサイトは某ウェブ小説サイトである

「おー、面白そうな小説がランキングに上がって来てるなー、さあて掲示板でも見てくるかー」

カチカチとマウスを動かす

「ん？何だこのスレ・・・何々・・・安価で異世界に飛ばします・・・釣りかなー」

そう言いながらも、マウスを動かしそのスレッドをクリックする

「安価取ったら携帯で写メとって貼るよwww・・・っと・・・安価取れちゃったな・・・」

- スレッド -

1 名無しの旅人 「安価で異世界に飛ばします」 2012/01/01 01:00:00 all4wdds2ew4

安価で異世界に飛ばします<<320

307 名無しの旅人 「安価で異世界に飛ばします」 2012/01/01 03:47:52 kukddsw1w32a

ksk

308 名無しの旅人 「安価で異世界に飛ばします」 2012/01/01 03:48:12 ae4bu31aal21

ガチで飛んだらk w s k説明頼む <<320

釣りだったら釣りでいいけどなw w w

k s k

309 名無しの旅人 「安価で異世界に飛ばします」 2012

/01/01 03:48:43 g3aw49jx32mn

異世界に飛んでエルフの乳を・・・

k s k

310 名無しの旅人 「安価で異世界に飛ばします」 2012

/01/01 03:48:52 kv1bls33lxmn

<<309 お前・・・消されるぞ

311 名無しの旅人 「安価で異世界に飛ばします」 2012

/01/01 03:49:31 buu2ka09ms12

<<309 エルフの乳w w w wでかいんだろうなw w w

・ ・ ・

316 名無しの旅人 「安価で異世界に飛ばします」 2012

/ 0 1 / 0 1 0 4 : 0 1 : 1 2 a v 3 2 k k l s 9 3 2 x

お前ら年越えしても元気だな w w w w w w w w w

< < 3 0 9 グヘヘ w w w

3 1 7 名無しの旅人 「安価で異世界に飛ばします」 2 0 1 2
/ 0 1 / 0 1 0 4 : 0 2 : 0 1 b u u 2 k a 0 9 m s 1 2

ざわ・・・ざわ・・・

3 1 8 名無しの旅人 「安価で異世界に飛ばします」 2 0 1 2
/ 0 1 / 0 1 0 4 : 0 2 : 1 0 m k 5 7 s s x b u u 3 3

< < 3 2 0 マダー？

3 1 9 名無しの旅人 「安価で異世界に飛ばします」 2 0 1 2
/ 0 1 / 0 1 0 4 : 0 2 : 2 3 a e 4 b u 3 1 a a l 2 1

< < 3 2 0 異世界に入ったらとりあえず写メ貼れ！

美人さんとかの・・・ね w w w w

3 2 0 名無しの旅人 「安価で異世界に飛ばします」 2 0 1 2
/ 0 1 / 0 1 0 4 : 0 2 : 4 1 l i 7 2 m m 2 w k 4 1 w

安価取ったら携帯で写メとって貼ってやるよ w w w

- スレッド -

「・・・あれー・・・とれちゃ・・・った・・・な」

男の意識はそこで途絶え、この世界から消え去った

薄暗い洞窟のようなところ・・・そこで彼は目覚めた

まあ、人間の姿はしていなかったが・・・

「んっ・・・眠っちゃったな・・・」

男は自分の手に違和感を感じ首を曲げる

ガチャッ

「・・・あれー？今首から鉄の音がしたんだけど気のせいかな？」

また首を曲げる・・・

ガチャッ

「おつかしいなー首から鉄の音なんてしないはずなんだけどなー」と言いながら

首を曲げて体を見る、その姿は・・・

「なんじゃこりゃあああああああ!!!!」

鉄の鎧を着た？自分の姿だった・・・

話は冒頭に戻る・・・

30分後

「よし、落ち着いた」

その鎧は20分ほど意味不明な行動を取っていた

じたばたしたり、走ったり、周りから見たら変人のような行動だった

「状況を把握しよう、まずここは洞窟のようにじめじめした場所だな」

と言いながら地面に座り胡坐をかく

「今更だが、自分が息をしてるようには思えんなあ・・・、まずこの鎧脱げないし・・・」

ちなみに今の容姿は、漆黒のようにどす黒い色の鎧、そしてそこからでる黒に近い赤の霧

言っちゃうと何だが中身がなかのひと(い)ない

本人が気づくのはちよつと先になるだろう

「・・・こんな状況で頭にステータス出る！なんて思い浮かべたらどうなるんだろ、二次小説とかでそういうのあるしな」

その鎧は、そう言いながら頭に（ステータス出る！）と思い浮かべてる

「どうせ出ないだろ」

と思っていると、頭に・・・

名前：空欄

種族：黒霧騎士
ブラックファントムナイト

LV：1

スキル：空欄

年齢：0歳

現在地：名も亡き洞窟

場所補正：城・古城・街

逆場所補正：山・森

食物によるステータス補正：極低

（あつれえ！？出ちゃったよー！？）

鎧は・・・改め黒騎士は焦りながら鎧を脱ごうとする

（脱げないっ！・・・兜の前の部分だけ開けて水溜りで顔を見てみるか・・・）

黒騎士は水溜りに向かってガツチャンガツチャンと音鳴らしながら歩いていく

ピチャーン・・・ピチャーン・・・

（やっぱり怖いなあー洞窟って・・・）

そう思いながら水溜りを覗く、すると自分の顔は無く黒い何かが霧のように浮かんで？いた

（・・・えーっと・・・ちょっと待て・・・さっきのステータスに黒霧騎士ってあったな・・・）

ブラックファントムナイト

”黒霧騎士”（これだよな・・・？）

「・・・・・・・・モンスターかよおおおおお！」

黒騎士の声は虚しく洞窟に響いた・・・

第一話 いつのまにか異世界に・・・あれ？（後書き）

出来たら感想お願いします

作者「これだけです」

神治「これだけ？」

作者「これだけです」

神治「これだk（無限ループ）

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4967ba/>

黒騎士の行く道 Dark Knight Go Road

2012年1月13日20時46分発行